

令和3年
6月号



つちさわ

平塚警察署
土沢駐在所
☎ 31-0110

覚醒剤等薬物乱用の禁止

◎薬物乱用の危険性

覚醒剤、大麻、麻薬等の違法薬物は、「二度のつもり」で使用したとしても、薬物の依存性や耐性が身体に生じてしまい、使用する薬物の量や回数が増える乱用状態に陥り、自分の意思ではやめることが出来なくなります。



また、違法薬物の乱用は、脳の発達に悪い影響を与えるだけでなく、精神や身体をボロボロにし、時として、幻覚や妄想が凶悪犯罪や事故を引き起こすこともあります。乱用した本人だけでなく、家族や友達等周囲の人をも不幸にする薬物乱用は「ダメ。ゼッタイ。」

◎薬物の使用を誘われたら

薬物は、「皆やっつて」「痩せられる」「頭が冴えて成績が上がる」など、甘い言葉や誤った情報で誘われます。もし、先輩、友達等の身近な人から薬物を勧められても、その場の雰囲気にならなずハッキリ・キツパリと断り、その場から離れましょう。好奇心や不安、「仲間はずれにされるのが怖くて」など自分自身の気持ちや薬物乱用のきつかけとなります。「一度だけなら大丈夫」だと思いつつ手を出すと、気付いた時には薬物から抜け出せなくなってしまう。自分自身や大切な人を守るためにも、薬物乱用の誘惑に対しては、断る勇氣と強い態度で臨みましょう。

◎「大麻は安全だ」と思っていないませんか。

近年、若年層の大麻乱用者が増加しています。大麻が覚せい剤、麻薬等の違法薬物と比べ安全だと思ってしまう。それは大きな間違いです。大麻を乱用すると、脳の中にある海馬という細胞が死滅して記憶障害を起します。大麻は、自分が依存状態になっていることに気が付きにくい物質なので、「いつでもやめられる」と勘違いされやすいのですが、本当は、気付いた時には、やめられなくなっている依存性の高い薬物です。大麻とはそういう薬物です。「大麻は害がない」といった誤った情報を鵜呑みにしないでください。



◎手遅れになる前に相談を

「友人が薬物を使っている」「薬物の誘いを断る自信がない」「薬物乱用をやめたい」このような場合は、一人で悩まないでください。警察の相談窓口の他にも精神保健福祉センター、家族会、NPO法人等の様々な相談窓口があります。大切なものを失う前に相談窓口にご相談しましょう。

令和3年5月中の 土沢駐在所管内事件

(4月20日～5月15日)
不審火 1件
不法投棄 2件

市役所職員・銀行員・私服の警察官(刑事)等を騙る者がキャッシュカードを騙し取り、暗証番号を聞き出してコンビニ等で金を下ろす特殊詐欺が多発しています。

暗証番号4ケタは、絶対に他人に言わないでください。

特殊詐欺の被害防止

- 『サギ撲滅の2本柱』
- ① こんな言葉を聞いたらサギだ！
 - ・「キャッシュカードを預かります」
 - ・「ATMで医療費を還付します」
- ② 留守番電話設定のお願い！
 - ・犯人は留守番電話を嫌います
 - ・常に留守電話設定を
 - ・留守電が作動する前に取らないで

巡回連絡にも協力を

巡回連絡とは、警察官が皆さんのご家庭を訪問して地域の犯罪や交通事故の発生状況を連絡し、犯罪の予防や交通事故防止等の地域安全情報を提供するほか、皆さんからの警察に対する要望やご意見をお伺いして、安全・安心できる街づくりに反映させる活動です。その際、巡回連絡カードの作成をお願いしています。このカードは、災害や事件事故等に遭遇した時、迷子、傷病人、高齢者を保護した時などに活用する資料として駐在所に保管しています。既にカードを作成しているお宅は、記載内容に変わりがなければ確認しますので、ご協力をお願いします。